

申告年度を記入ください。

<取得年月>
年号 … 令和であれば「5」、平成であれば「4」と記入ください。
年月 … 資産を取得した年月を記入ください。
※令和6年1月1日に取得した資産は、行番号14及び15のように記入ください。

<取得価額> 当該資産の取得価額を記入ください。
<耐用年数> 当該資産に適用する耐用年数を記入ください。
※耐用年数は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に基づく法定耐用年数を記入ください。

<所有者名>
償却資産申告書(償却資産課税台帳)の所有者氏名又は名称を記入ください。

種類別明細書(増加資産・全資産用)のページ数を記入してください。

<資産の種類>
資産の種類に記入する数字は次のとおりです。
1…構築物
2…機件及び装置
3…船舶
4…航空機
5…車両及び運搬具
6…工具、器具及び備品

<資産コード>
記入は不要です。
なお、資産を見分けるためにつけた独自の番号がある場合等は、記入いただいても差し支えございません。

<資産の名称等>
増加した資産、増加していたが申告がもれていた資産の名称を記入ください。
【注1】
名称が同じものが続く場合でも、「同上」「#」とはせず、それぞれ記入ください。
【注2】
20字を超える場合は、名称の省略をお願いします。
【注3】
漢字、数字、ひらがな、カタカナ、アルファベット等を使用し、左詰めで記入ください。

<数量>
該当資産の数量を、「個」等の単位をつけずに記入ください。

令和6年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)										所有者名		種類別明細書(増加資産・全資産用)のページ数を記入してください。	
行番号	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月	取得価額	耐用年数	償却率	償却額	償却残価	償却率	償却額	償却残価	課税標準額	摘要	ページ数
01	1	本社工場 敷地フェンス	1	5 4	2555200	10	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
02	1	広告塔	1	5 4	4821000	20	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
03	2	小型アキュムコンベア	1	5 4	920000	8	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
04	2	飯缶洗浄機	1	4 1 3 8	6640600	8	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
05	2	蓋取装置 FOC-330	1	5 5 7	600000	9	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
06	2	フォーム洗浄機	1	5 5 7	360000	8	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
07	2	ジャイロコンパクトフリーザー	1	5 5 7	9320500	9	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
08	2	汚水処理装置	1	5 5 8	1102300	9	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
09	2	ジャンボ成型機	1	5 5 9	880000	9	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
10	2	盛付コンベア	1	5 5 9	7632730	9	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
11	6	乾熱滅菌器	1	4 2 0 5	243000	4	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
12	6	電子レンジ	4	5 5 4	260000	6	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
13	6	ルームエアコン	2	5 5 4	400000	6	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
14	6	パソコン	3	5 6 1	470000	4	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
15	6	コピー機	1	5 6 1	950000	5	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
16	6	食器洗浄機	1	5 3 4	770000	6	0.0	0	0	0.0	0	0	0	1	1
小計					121809830										

<増加事由>
資産を取得した事由について、次の該当する番号を○で囲んでください。
1…新品取得
2…中古品取得
3…移動による受入れ
4…その他
※「その他」を選択した場合は、摘要欄に具体的な内容を記入ください。

<摘要>
当該資産にかかる次のような特記事項がある場合は記入ください。
(a) 前年以前に増加していた資産について申告がもれていた。
⇒本来申告すべき年度と「申告もれ」であることをこの記入(※行番号No16参照)。
(b) 課税標準の特例及び非課税、減免に該当する資産がある。
⇒その旨と適用条項等を記入(※「特349の3①」等)。
(c) 他の市区町村からの移動により受入れた資産がある。
⇒移動の年月とその市区町村名を記入(※行番号No4参照)。
(d) 耐用年数の短縮、中古資産の見積耐用、増加償却を行っている資産がある。
⇒それぞれ「短縮」、「中古」、「増加償却」と記入(※行番号No8参照)。
(e) 合併等により受入れた資産がある。
⇒その旨の記入(※行番号No11参照)。
※上記(a)から(e)に当てはまらない事由でも当該資産の価格の決定

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印を付けてください。